

姫路市立図書館だより

城影



発行 姫路市立城内図書館

兵庫県姫路市本町68-258

電話 079-289-4884

2023年 12月号

♪「冬におすすめの本」「クリスマスの本」展示中♪

図書館各館では、小学生・中学生の各学年向けに、クリスマスや冬の季節にぜひ読んでほしいおすすめの本を展示しています。

また、学年ごとのリストも配布しています。どうぞお役立てください。



姫路城クイズ

姫路城世界遺産登録30周年を記念して、図書館全館で「姫路城クイズ」を実施中。

クイズの参加者に家紋クリアファイルをプレゼント♪

姫路城クイズの問題用紙に答えを記入し、図書館窓口まで提出してください。

回答受付は12月27日（水曜日）まで。先着500名ですのでお急ぎください！

年末年始の休館のお知らせ

12月28日（木曜日）から来年1月4日（木曜日）まで全館休館します。
本の返却は、返却ポストをご利用ください。

また12月14日（木曜日）から12月27日（水曜日）までの間は
貸出期間が3週間になります。

この機会にぜひお正月休みに読む本をお借りください。



12月・1月 図書館カレンダー（ が休館日）



12月 December 師走						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

分館						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月 January 睦月						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

分館						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※ひがし分館は令和6年3月末（予定）まで休館

「姫路のお城とお殿さん」と 「姫路城クイズ」

城内図書館では、姫路城世界遺産登録 30 周年を記念して企画展示「姫路のお城とお殿さん」を開催しています。エントランスでは、姫路城や姫路城主に関する禁帯出本の展示・紹介、閲覧室内展示コーナーでは関連図書の展示・貸出をしています。また、全館で「姫路城クイズ」を実施中です。参加者には家紋クリアファイルをプレゼント（無くなり次第終了）しています。ぜひ、チャレンジしてください。

【姫路城に関する展示本の一部をご紹介します】

『姫路城主「名家のルーツ」を探る』播磨学研究所/編 神戸新聞総合出版センター

姫路城は、全国でも城主の数が極めて多いお城だそうです。本書は、中世から近世にかけ姫路に入封してきた諸名家のルーツを探りながら姫路・播磨の歴史、また播磨の地から日本の歴史を俯瞰する内容で、十人の講師による連続講座をまとめたものです。

『姫路城開城 譜代姫路藩の明治維新』藤原龍雄/著 神戸新聞総合出版センター

慶応 4 年 (1868 年)、姫路藩は戦わずして姫路城を開城しました。酒井家の「家名存続」と領土領民の安堵「本領安堵」をいかにはかるか…。幕末から明治新政府へという歴史的変換期に、姫路藩士がどのように考えどのような選択をして生きたかが、残された資料を客観的に追いながら記述されています。

『姫路城を彩る人たち』播磨学研究所/編 神戸新聞総合出版センター

池田輝政、宮本武蔵、千姫、お夏、河合寸翁…城主から庶民まで、姫路城や城下町で繰り広げられた、その時代の人々の暮らしや物語が紹介されています。

『軍師官兵衛 (NHK シリーズ NHK 大河ドラマ歴史ハンドブック)』 NHK 出版

ドラマ化で、黒田官兵衛関連書籍は一気に充実しました。本書には、官兵衛に関する豊富なデータが、図や写真とともにわかりやくまとめられています。

『黒田官兵衛と二十四騎』本山一城/著 宮帯出版社

黒田官兵衛の家臣の中でも精鋭 24 人を黒田二十四騎と呼びます。本書は、それぞれの家紋や花押、兜や陣羽織の図等まで紹介。著者によると「マニアックな内容」ですが、24 人の一人一人が目に浮かんでくるようです。 (峯)

図書案内

『師匠はつらいよ - 藤井聡太のいる日常 -』

杉本 昌隆/著 文芸春秋 (796-ス)

著者は棋士の杉本昌隆八段。弟子は史上最年少でプロ入りし、数々の最年少記録を塗り替え、今年前人未到の八冠を達成した将棋界の若き天才、藤井聡太棋士です。

本書は、そんな強すぎる弟子をもった師匠としての「つらい」思いを弟子への愛情たっぷりに、ウィットにとんだ文章でつづっています。また、将棋にまつわる日常の悲喜こもごものエピソードや、興味深い棋士たちの世界をわかりやすくユーモラスに紹介し、将棋をあまり知らない人にも親しみやすい内容になっています。

師匠の誕生日に竜王獲得の偉業を達成した弟子が記者会見でどう答えるかを期待する「最高の誕生日」。杉本一門で弟子に渡す毎年恒例のお年玉で、藤井聡太へのお年玉をどうするかを悩む「お年玉問題」。ファンからのプレゼントが本当に弟子の藤井宛ではなく自分宛なのか何度も確認する「棋士へのプレゼント」などなど。その他、ファン注目の勝負メシの話、棋士の職業病ともいえるぎっくり腰の話など、全 100 話収録されています。

(平山)

今月の子どもの本

『ムーミン谷の冬』

トーベ・ヤンソン/作・絵 山室 静/訳 講談社 (GY-ヤ-5)

ムーミン一家は、毎年 11 月から 4 月まで冬眠します。雪に埋もれた家のあたたかい寝床のそばに、春になったら使うものをすっかりそろえて家族で春まで静かに眠るのです。

ところがこの冬初めてムーミントロールはひとりだけ目を覚ましてしまい、それきりもう眠れなくなってしまいました。ムーミントロールはママを起こそうとしますが、ママは目を覚ましません。だれもかれもが眠っていて、目を覚ましているのが自分ひとりだなんて……。不安や孤独のなかムーミントロールは家の外の世界に出てみます。はじめて出会う冬の生き物相手に次々と自分のやるべきことを見つけていきます。ご先祖トロールや氷姫、流しの下に住人、めそめそくんなど個性的な生き物たち、へんてこな多くのものと出会い交流していくうちにいつの間にか春の訪れが近づきました。その頃にはムーミントロールはすっかり冬が好きになっていました。

フィンランドの冬の様子とほっこりした気分が味わえます。
小学中学年から。

(林)